

1. 科目名 ☆多…「介護過程の展開方法」…☆多

2. 科目担当者及び学生

介護教員を目指す、向上心が豊かな、福祉・医療専門職の皆さんと、担当教員・福祉を極める事を目標としている、**吉田志保（よしだ しほ）** [佐野日本大学短期大学 講師]です。



3. 授業時間

日曜日の午後 13 時 30 分から午後 16 時 40 分までを原則とします。

4. 実施教室

今年度は、Zoom での授業となります。

5. 皆さんと担当講師のコミュニケーション ー問い合わせ・連絡先ー

授業で使用するレジュメ（課題）の提出先で使う、事務局のアドレスは、

info@rdipa-vet.org を使っていますので、何かございましたらご連絡ください。

また、授業担当者（吉田志保）への質問等は 連絡ください。なお、個別での回答には 2～3 日、内容によっては 1 週間前後の時間をいただく場合がございますので、ご承知ください。

6. メイン・テーマ

介護福祉士養成のための「利用者の望む生活を実現するため」に必要な、「思考と実践を教授する方法」

7. キーワード

・介護過程の展開 ・思考過程 ・利用者一人ひとりの希望（ニーズ） ・QOL（生活の質）の向上
・根拠に基づいた介護 ・情報収集 ・アセスメント ・解釈・関連付け・統合化 ・課題の抽出
・目標の立案 ・具体的な方法 ・計画実施 ・評価 ・再アセスメント ・チームアプローチ
・多職種連携 ・リスクマネジメント

8. 学習の目的と達成課題

(1)学習の目的…「利用者の望む生活の実現」に向けて、学生達が主体的に「介護過程」を展開し、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程が習得できるよう教授することを目的とする。

(2)達成課題としては、学生達が以下を理解・実践できるよう支援する力量の習得。

①各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護過程の意義・目的について、学生達が理解できるよう伝える力量。

②介護実践に必要な観察力・判断力及び思考過程について、学生達が理解できるよう伝える力量。

③利用者の望む生活の実現のために必要な情報（アセスメント）とは何かを、学生が主体となり自ら考えることができる力量。

④本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を学生達が習得できる力量。

⑤学生達が介護過程を展開し、それを文章で他者にわかる形で伝える事ができる力量。

⑥介護過程の展開を理解し、個別の事例を通じて実践に必要な技術の確認や社会資源の活用、道具の準備などをおこない、利用者の状態や状況に応じた介護過程の展開を学生達ができる力量。

⑦学生達が実習の中で、実践に基づいた介護過程の展開を行うことができる力量。

⑧チームアプローチ（多職種連携）での介護過程の展開について理解し、学生達が介護福祉士として必要な意見を伝えることができる力量。

9. 皆さんへの学習支援の方法

「介護過程」について、介護福祉士養成教育のカリキュラムに組み込まれたのは、2009年4月からであり、それまで他の科目の中で多少、取り上げられているだけでした。またカリキュラムに組み込まれてからも介護福祉施設では、さまざまな理由から浸透していない現実があります。

この授業は、「介護過程の展開方法」について、基礎的な事柄を理解した上で、アクティブラーニング（グループワーク、ロールプレイ等）を用い、実際に介護教員を目指す受講生自身が、事例について「介護過程」を展開したうえで、それを言語化し、文章におこしてすることで、どのような説明を学生に伝えれば理解が深まるのかを体験的に理解していきます。

10. 教材・テキスト

テキスト…授業中に使います。・川廷宗之・永野淳子編「アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブック」株式会社みらい,2016年刊行

参考書…授業では使いません。自己学習用です。

・最新 介護福祉士養成講座9「介護過程」中央法規出版,2022年2月刊行（第2版）

その他…授業では使いません。自己学習用です。

・川廷宗之編「介護教育方法の理論と実践」弘文堂,2019年刊行,pp145～159

・吉田志保・永嶋昌樹・半田仁・松本浩太郎・齊藤美由紀・川廷元之「介護施設における本人のニーズを重視した個別支援（ケア）を適切に行うための方法として「介護過程」の実践に関する考察,敬心・研究ジャーナル第2巻第1号,2018年6月,pp121～128



1 1. その他教材

適宜「学習資料」の形で、必要な資料を配布致します。

1 2. 毎回の学習予定と主題 全 15 時間・課程

〈単元 1…介護過程の意義と目的の理解〉

テキスト pp.16-18、その他配布資料

第 1 回 11 月 19 日（日）13:30～16:40（午後）「介護過程とは何か」

- * 介護実践における介護過程の意義と目的を理解する。
- * 根拠に基づく介護実践、個別ケアについて理解する。
- * 課題解決思考（科学的思考）について理解する。
- * 「介護過程」と「ケアプラン」の違いについて理解する。
- * 自立を支援するための介護とは何か、残存能力を活用する必要性について学ぶ（グループワーク）

〈単元 2…アセスメント情報を収集するために〉

第 2 回 11 月 26 日（日）13:30～16:40（午後）

テキスト pp.75-78、その他配布資料

- * ICF の視点から必要な情報についてワークシートに記入できる。

（グループワーク）

- * 足りない情報については、他職種からの情報をプラスすることができる。（ロールプレイ）
- * 情報と情報の関連付けについて説明できる。
- * 関連付けした情報を各領域で学んだ知識・技術を用い、統合できる。
- * 根拠に基づいた、課題とニーズの明確化（情報の解釈・関連付け・統合化、課題の抽出）をおこなう。
- * 課題の優先順位が理解できる。

〈単元 3…個別援助計画の立案に向けて〉

第 3 回 12 月 10 日（日）13:30～16:40（午後）

テキスト pp.87-90、pp91-94、pp109-116（グループワーク）

- * 個別援助計画立案に向けて（目標、達成時期）を理解する。
- * 個別援助計画立案に向けて、内容（具体策）を考える事ができる。
- * 事例による介護過程の展開、事例検討（利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開）をおこなう。
- * 事例について、足りない情報について考え情報を再収集することができる。（ロールプレイ）

〈単元 4…対象者の状態・状況に応じた介護過程の展開〉

第 4 回 12 月 17 日（日）13:30～16:40（午後）

事前に配布されている追加資料（奥田美代さんの事例）を参照

- * 事例について、集めた情報を分析し、課題とニーズの明確化をおこなう。
- * 個別援助計画を立案し、実施、評価をおこなう。

〈単元 5…多職種連携と、実践での介護過程について〉

第 5 回 12 月 24 日（日）13:30～16:40（午後）

アサインメントで作成した、自分のアセスメントシートをグループに共有し、発表する。

*グループで発表した中から、1 事例を選び、アセスメント表（解釈・関連付け・統合化、生活課題）を作成する。

*実習での「介護過程の展開」についての学生への指導方法について理解する。

（グループで展開した介護過程を通して考える）

1 3. 他の授業との関連

「介護過程の展開」は、介護福祉士養成カリキュラムのそれぞれの領域の科目を基礎としながら、それらを結び付けて応用し、介護総合演習や介護実習を通して実践していく過程です。

学生達は実習の中で、実際の利用者に対し、利用者の状態や状況に応じたチームとしての介護過程を実践していく過程であり、介護福祉士養成教育の「かなめ」でもあります。

1 4. 成績評価の方法・採点基準

この科目の単位認定は、

a. 毎回の授業における意見表明やグループワークでの参加態度 40%

b. 宿題やホームワークの作成状況 30%

c. 「介護過程の展開方法をどのように学生に指導するか」についてのレポート（A4-1 枚以上（1600 字程度） 30%

合計 100%のうち、60%以上で合格（単位習得）と致します。

1 5. ホームワーク

授業の際に、次回扱うワークについて、受講生に指示いたします。

第 1 のホームワーク（宿題）は、指示されたワークや事例を事前に熟読しておくこととなります。

第 2 のホームワーク（宿題）は、毎回の授業で出される課題への対応です。お仕事や家事・子育てなど、お忙しいとは思いますが、時間は自分自身で作るものです。計画立てて、課題をおこなっていきましょう。

～アサインメント①～

*第 1 回目（11 月 19 日）に、自分が関わってきた事例について、アセスメントを記入する課題が出題されます。提出締切は、**12 月 10 日（日）13:00**です。

なお、第 5 回 12 月 24 日（日）にアサインメントで作成したアセスメントシートを、グループに共有して発表致します。

～アサインメント②～

「介護過程の展開方法」についての感想と、「介護過程の展開方法をどのように学生に指導するか」についてのレポート（合計で A4-1 枚程度（1600 字程度）

提出締切は、令和6年1月7日（日）13:00

16. メッセージ

この講座は、介護福祉士を養成する教員を目指す方のための講座です。

すでに教員として活躍されている方、高齢者福祉や障害者福祉の分野で活躍されている方、病院で医療職として活躍されている方など、様々な方が参加されています。

それぞれの専門職が、他の専門職をリスペクトして、お互い尊重しながら、楽しく、有意義な講座になるよう、私自身を含めて協力してまいりたいと思います。

また、素朴な疑問など、分からない事は、積極的に質問してください。積極的な参加を期待しております。

17. 履修のポイント、履修上の留意事項

受講生自身が、講義に積極的に参加し、進めていくアクティブラーニングを用いて、講座を進めて参ります。

受動的にならず、積極的に（但し、お互いを尊重し合いながら）参加していきましょう。

また、課題やレポートは指定された期日までに提出しましょう。

不明点は、直接教員に尋ねるか、パソコンのメールを活用していきましょう。

体調不良の場合は、無理をせず、事務局に連絡をしてください。

